

あすなろ 交差点

時、忸怩(じくじ)たる思いがする。

この危機を脱却するため、当JAは産地の小包装パック商品づくりと消費者に直結した流通システム改革に取り組み、価格安定が

に主眼を置いた。これまで、良品質のA品で大玉の2L、L品は中国産に勝てる

場から難しいと言われ、交り甘くておいしく食べられる商品も開発した。口臭が消える究極のニンニク「Dレサカイガーリック」も二時間で消えるに

今年、田子ニンニクが誕生して四十年を迎える。しかし、中国産輸入により県全体で生産量は半減、田子町でも中国産に負けない産地戦略へあらゆる対策を講じてきたが、価格低迷は続き農家数も年々減少、一九九三(平成五)年で四百九十三人いた生産者が二〇〇二(平成十四)年は二百二十人まで激減した。先人の歩んだ苦難の日々を思う



田子ニンニクの挑戦

川村 武司

と区別が付かないほどだ。そこで、B品や小玉を中心

に、小包装パックによる販売額アップを目指した。

市場から消費者までの間に必ずパッケージセンターがあるが、そのパッケージを生産者側が行うという改革だが、ほとんどの市

た。足を棒にして歩き、頭たDレサカイこと農学博士を何度も下げ交渉した結果、田子産の年間値決め価格も決まった。さらに、皮をむいてパックし、冷蔵庫

から出してそのまま食べられる新鮮パックを考案。またC A冷蔵庫も完成し田子ブランドの周年出荷体制が確

立した。JAの最大の目標

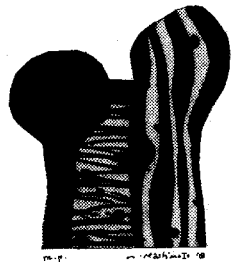
は生産者利益の追求にあらず、地域力が欠かせない。JA経済事業改革が問

われている今日、作る技術を追いついた転作田への二割に対し、売る技術は八割と考える。新たな取り組みで生産者手取りは倍増で

さらに皮むき作業、小包装パッケージ作業などで新たな雇用創出が期待できる。パート主婦や高齢者な

る。私は、田子ニンニクある。私は、田子ニンニクある。私は、田子ニンニクある。

橋本 尚恣



域ぐるみの労働支援として行えば、生産者は安心して栽培に専念できる。

当面の課題は、本年産ニンニクが全部売り切れ状態であること。しかも、産数の約二倍の注文が舞い込む。ただ、作ればはるうものではない。産者の心を離さずわくわく感動させる思いが大切である。

(かわむら・たけし) 田子町農協農産課長